

第2学年 特別の教科 道徳 学習指導案

1 主題構成表

主題名 お世話になっている人

資料名 はたけの先生 (出典 光文書院)

<p>■内容項目 B-(7)感謝 家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。</p>	<p>■価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家族など日ごろお世話になっている人々」とは、父母・祖父母・兄弟姉妹などの家族や上級生・教師をはじめ、学校でお世話になっている人、近所の人・交通整理をしてくれる人など、地域の人々を指すと考えられる。これらの人々のほとんどは年上の人である。最近の子どもたちの人間関係は横の関係が多いので、縦の人間関係を取り上げることが大切なことである。 ・自分が世話になっている人どのように自分を支えてくれているかという具体的事実を知れば、ありがたいと思う心が動き、それが「もと」になって感謝するという心と行動が生まれる。 	<p>■資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本資料では、80歳の川上さんから知恵や技術を教わりながらさつまいもを育てる話である。 ・川上さんから鍬などの農具の使い方・苗の植え方・水やり・草取りなどを習い、様々な作業を一緒に行う主人公の姿に、子どもたちは自分たちの経験と重ね合わせることができる。 ・川上さんはすごいなあ、立派だなあという思いが高まり自分たちが世話になっている人たちに対し、感謝の心をもって接しようとする実践意欲を高めていきたい。 ・世話になっている人はどのように自分たちを支えているかを知り、「感謝する」という心と行動が生まれることについて気付かせたい。
<p>■内容項目から見た児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の知らないことを知っていたり、自分のできないことを上手にできたりする人に対して、素直にあこがれや尊敬する気持ちをもっている。 <p>■要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰かの世話になることに慣れてしまうと、それを当たり前のように受け止めてしまいがちである。 ・自分たちは子どもだからできないし、大人だからできるんだと思う児童も見られる。 		
<p>■ねらい 日ごろから世話になっている人々の知恵や技術のすばらしさを知ることを通して、お世話になっていることに感謝する態度を養う。</p>		
<p>■展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろ世話になっている人について思い起こす。 ・「はたけの先生」を読み感謝する心について話し合う。 ・川上さんのすごいなと思う所や、主人公に対していろいろしてくれていることについて押さえる。 ・さつまいもがとれた様子を動作化し、感謝の気持ちを深める。 ・みんなが川上さんに招待状を書いた気持ちにどんな思いが込められているか気付かせる。 ・GTの話聞き、野菜を育てる苦労や技術を知り、感謝の気持ちを高める。 ・自分が世話になっている人についてワークシートにまとめる。 	<p>■基本発問 (◎中心発問)</p> <p>○日ごろ、どんな人にお世話になっていますか。</p> <p>○川上さんのすごいな、いいなと思うのはどんなところですか。</p> <p>◎大きなさつまいもがとれたのはどうしてかな。</p> <p>○どうして川上さんに招待状を送ろうと思ったのかな。</p> <p>○これまでに誰に何を教えてもらいましたか。また、誰に何をしてもらいましたか。</p>	

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>1. 価値への導入を行う。</p> <p>○日ごろどんな人にお世話になっている方に何をしてもらっていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族 ・見守り隊の方 ・友達のお母さん ・先生 ・交通当番の方 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を想起させることを通して、日ごろ世話になっていることに気付かせる。
展開	<p>2. 資料を読み、主人公の気持ちについて考え、交流する。</p> <p>○ 川上さんのすごいな、いいなと思うのはどんなところかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・80歳なのにとても元気なところ。 ・さつまいものことにとても詳しい。 ・畑仕事が上手なところ。 ・植え方を教えてくれたところ。 ・草取りのこつを教えてくれたこと。 ・はたけはうね作りが必要とわかったよ。 <p>☆補助発問に対して考え、交流する。</p> <p>◎ 大きなさつまいもがとれたのはどうしてかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一生懸命世話をしてくれたから。 ・草抜きを暑い中がんばったから。 ・さつまいもの世話の仕方を丁寧に教えてくれたし、知らないことも教えてくれたから。 ・ありがとうの気持ちから。 ・自分たちだけではうまく育てられなかったかも。 ・教えてもらってよかったな。 <p>○ どうして川上さんに招待状を送ろうと思ったのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さつまいもがたくさんとれたから。 ・はたけの先生の仕事をしてくれてありがとうと伝えたかったから。 ・お礼をしたいなと思ったから。 ・育てたさつまいもを見てもらいたいなと思ったから。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《今日の大事な心》 お世話になった人にはかんしゃの気持ちを伝えることが大切。</p> </div> <p>3. さつまいもの苗植えのお手伝いをしてくださったGT(ゲストティチャー)の話聞き、お世話をする側の気持ちに触れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・川上さんのすごいなと思う所や、主人公に対していろいろしてくれていることについて押さえる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆補助発問 川上さんががんばろうと思っているもとにあるものはなんですか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・川上さんがどのように自分たちを支えてくれたかの事実を通して、感謝の気持ちに気付かせ、「おかげ」「すごい」「ありがとう」などの言葉で押さえる。 ・さつまいもがとれた様子を動作化し、感謝の気持ちを深める。 ・前の発問と対応させて、表れてきた感謝の気持ちを結びつけて示し、それが行為に発展していく様子を板書に示してまとめる。
終末	<p>4. これまでの自分を振り返り、交流する。</p> <p>○これまでに、だれに何を教えてもらいましたか。また、誰に何をしてもらいましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生に勉強を教えてもらいました。 ・先生にけがをしたとき消毒してもらった。 ・給食のお手伝いしてもらった。 ・さつまいもの苗植えを手伝ってもらった。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>書く時の視点 感謝の心をもってお世話になる人に接しようという気持ちをもつことができたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを活用し、自分の経験を語れるように支援する。